

日本共産党がみなさんにお届けします

島本民報

2018年1月号外

発行：日本共産党島本町委員会 TEL・FAX：962-4003

【連絡先】

かわの恵子 島本町水無瀬2-3-3-506

☎ 962-1708

メール：k3kawano@yahoo.co.jp

日本共産党島本町委員会が見解を発表しました。

災害に強いまちづくりへ 都市計画マスタープラン「修正見直し」を！

日本共産党

都市計画マスタープランにもとづくJR島本駅西地区の開発(市街化区域編入)の説明会、意見の募集が始まっています。公金投入、財政上の見通しを示し、多くの住民の意見を反映させることが必要です。

日本共産党・かわの恵子は2001年から現在まで、町議会や都市計画審議会などで「ていねいな説明、住民意向調査の実施を」「マスタープランの修正を」と求めてきました。

一その1 住民意向調査・地域別説明会を！

島本町は2001年以降、都市計画マスタープランの見直し、町は「住民意向調査」「地域別説明会開催」を実施していません。高槻市では当たり前に行われています。

高層マンション開発の急増に対し、「低層住宅地周辺でのマンションの建設などに高さ制限をかける地区計画が必要」「消防活動・緊急車両進入路など道路の確保を」求める声が高まっています。

学習会の講師謝礼への支援など、住民の自発的なまちづくり、参加を進めることも必要です。

一その2 生産緑地制度の位置づけを

1980年代に市街化区域とされた農地は、当時と比べ「宅地並み課税」の重税感が迫り、後継者不足なども重なり、ここ数年間で住宅開発が一気にすすんでいます。

市街地の農地は、農空間としての貴重な景観であり、大雨時の保水(貯水)機能など、防災上に果たす役割は図り知れません。市街化農地でも農業を続けられる生産緑地指定が待たれています。

一その3 東大寺緊急土砂置場(第二幼稚園の正面)の開発方針をやめる

現地は「『スポーツ・レクリエーション施設』など政策課題に対応した様々な活用方法を」とされていますが、各種スポーツ施設用予定地はすでに緑地公園の中を買っています。さらに現地は、国土交通省所有の土地であるため「払い下げ」が必要ですが、町は一度も交渉を行っていません。

【JR島本駅西地区都市計画概略案説明会】

1月19日(金)午後7時～

ふれあいセンターケリヤホールにて

【意見募集】(1月16～29日・文書にて)

詳しくは、「広報しまもと」1月号9ページで。

—これからも大阪府に求めています—

○時間雨量50ミリ対応ができていない水無瀬橋上流区間を完成させ、急ぎ80ミリ対応をめざす。

○土砂災害警戒 指定区域に対する対策

大阪府は「カジノ」より

森林の保全と河川改修、 生命と財産を守ろう

大阪府会議員 宮原たけしは がんばります



河川では、芥川と檜尾川の土砂は一部取り除き中です。しかし、水無瀬川は土砂撤去の計画もありません。何よりも、4つの河川とも本格的な改修が2020年度以降で、その後いつ始まるかのメドさえ、大阪府は示していません。

河川の上流の森林整備も一部しか大阪府は計画をしていません。

※写真は、水無瀬川上流(尺代)視察(2017年12月)

自治会・地域住民の要望を後押し実現

○西京高槻線・柳谷島本線の歩道カラー化舗装

(府内で2例目一以後、町道にも採用され広がっています。)

○旧府道桜井駅跡線への押しボタン式信号機設置

○水無瀬川 土砂撤去の実施基準を改善/台風後の流木の撤去/護岸改修 など

さらに改善を求めています